千葉大学医学部附属病院
脳神経内科

入院診療：2024年度 総数 425名

神経免疫疾患（多発性硬化症、重症筋無力症、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー等）、神経変性疾患（筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病等）を中心に、神経内科領域の様々な疾患の患者さんの入院診療を行っています。

他院で診断や治療が困難な方も積極に受け入れています。
また、POEMS（クロウ・深瀬）症候群の患者さんが全国から集まっております。

主な疾患の症例数

多発性硬化症・視神経脊髄炎・抗MOG抗体関連疾患	54名
慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー	13名
ギラン・バレー症候群・フィッシャー症候群	8名
POEMS（クロウ・深瀬）症候群	16名
重症筋無力症	33名
筋萎縮性側索硬化症	44名
パーキンソン病・パーキンソン症候群	62名

外来診療：2024年度 新患総数 1534名

予約制で新患患者さんの診療を行っています。
神経内科領域の疾患を幅広く受け入れています。末梢神経疾患の患者さんが多いことが特徴です。
セカンド・オピニオンのご依頼も多く頂いております。

主な疾患の症例数

末梢神経疾患	260名
機能性疾患（不随意運動・頭痛・てんかん）	285名
認知症	178名
脊椎・脊髄疾患	132名
神経筋接合部・筋疾患	112名
パーキンソン症候群	217名
脳血管障害	38名
運動ニューロン疾患	88名
自律神経疾患	32名
脊髄小脳変性症	55名

セカンド・オピニオン（12名）

末梢神経障害、多発性硬化症、重症筋無力症など